

抜歯手術説明書

患者漢字氏名

臨床診断名：

術式：抜歯

術後出現する可能性のある症状および後遺症：

- 口腔内術部の創痕および頬粘膜、口腔底、舌への侵襲
- 1～2週間程度の、術部の疼痛と腫脹(最も症状が強いのが術後2～3日目)
- 舌神経、下歯槽神経、オトガイ神経の麻痺(ごく稀に一生残る可能性あり)
- 出血(稀に術部相当部の皮下出血斑)
- 術後の隣在歯への影響(動揺、知覚過敏による咬合、冷温水痛)
- 口角炎
- 術後感染
- 治癒不全
- 発熱、倦怠感、その他全身への様々な影響(循環器、脳神経系への影響を含む)
- 顎関節症状(関節雑音、疼痛、開口障害、脱臼など)
- 歯の一部の残存(癒着、歯根の湾曲、下歯槽神経近接など)
- 骨隆起の出現
- 上顎洞への迷入
- 上顎洞炎、口底部蜂窩織炎の惹起
- 皮下気腫の出現
- 術後投薬に対する薬剤過敏反応(稀に重篤な事態を引き起こすことがあります)
- 麻酔に対する過敏反応(稀に重篤な事態を引き起こすことがあります)
- 抜歯困難な場合には、抜歯を中止し高度医療機関に紹介する場合があります

手術合意書

田崎歯科殿

私は主治医から治療内容および術後出現する可能性のある症状などについて十分な説明を受け納得いたしましたので、手術を受けることに合意いたします。

平成 年 月 日

患者および保護者氏名 _____ (自著)